

こんにちは。勝浦町地域おこし協力隊の坂上です。急に気温が下がり、冬の始まりを感じますね。皆様、暖かくしてお過ごしください。今回の恐竜通信では、イベント報告や化石発掘調査における化石の見分け方についてご紹介いたします。

勝浦中 1 年生がふるさと学習

勝浦中学校 1 年生がふるさと学習を行いました。粘土で恐竜の骨格に肉付けをする「造形」を実際に体験し、恐竜に対する理解を深めました。



横瀬小 1 ～ 3 年生が発掘体験

横瀬小学校 1 ～ 3 年生が徒歩遠足で化石発掘体験をしました。割った石の中から、植物や貝などの化石を見つけて嬉しそうでした。



生比奈小 6 年生が恐竜学習

生比奈小学校 6 年生が理科の授業で勝浦町の化石に関する学習を行いました。話の後にはクイズがありましたが、ほぼ全員が正解しました！



古生物豆知識

徳島県勝浦町の化石の見分け方

現在、勝浦町では、徳島県立博物館による恐竜化石含有層（ボンベッド）の化石発掘調査が進められています。今回は、実際に調査で見つかる化石の見分け方についてご紹介します。見つけやすさをレア度で示してみました。町では、一般の方向けに、化石発掘体験を定期的に行っているのでは是非おこしください。

画像提供：徳島県立博物館



植物化石

レア度 ★★★★★



一番よく見つける化石です。植物は化石になるときに炭になってしまふので、黒くてギラギラ光って見えるのが特徴です。



貝化石

レア度 ★★★★★



二枚貝や巻貝の化石が見つかります。断面が飴色でやや透明感があり、キラッと光ります。風化していて断面が白い場合もあります。



カメの化石（こうら）

レア度 ★★★★★



こうらの断片の化石が見つかります。断面にはスジのような構造やスポンジ状の小さな孔があります。一定の厚みで黒く光沢がないのも特徴です。



魚の化石（ウロコ）

レア度 ★★★★★

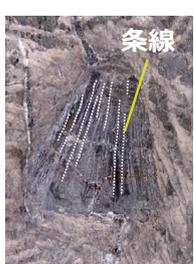


硬く厚いウロコを持った魚の化石が見つかります。見分けはとても難しいですが、表面は植物と違って滑らか（ボコボコしていない）でキラッと輝きます。



ワニの化石（歯）

レア度 ★★★★★



歯の化石が見つかります。表面には条線と呼ばれるスジが見られることが多いです。表面は黒く光沢がありますが、断面には光沢がありません。



サメの化石（歯）

レア度 ★★★★★



ヘテロブチコダスという淡水性のサメの歯の化石が見つかります。歯の表面は横スジの間に縦スジが入っているのが特徴です。断面は黒く光沢がありません。



恐竜の化石

レア度 ★★★★★



歯や骨の化石が見つかります。歯の断面は黒く光沢がない、骨は断面に穴が空いているなどの特徴を持ちますが、大きさや形、表面の模様が他の脊椎動物とは異なります。